会員企業をたずねる
女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第19回

福山通運株式会社

経理課 課長
宮澤　扶水子さん

PROFILE
1997年入社。福岡支店で庶務全般を担当。同年、本社経理部計算課（現 運賃・料金管理部）に異動。2009年、福山通運健康保険組合に出向と同時に係長に昇進、保険金給付や診療内容の精査業務等に携わる。2013年、再び本社経理部計算課に復職と同時に課長代理に昇進。翌年、経理課に異動、現在に至る。福山市出身。

予想を超えていた管理職の重責

――入社後の経歴を教えてください。

入社直後は福岡支店の庶務に携わりました。当時福岡支店は北九州の主管店で、従業員約200人を超える大所帯だったのですが、庶務担当は課長を含め４人のみ。だからこそ、入社直後から多様な業務を経験することができました。同年11月に、本社の経理部計算課（現 運賃・料金管理部）に異動し、回収・入金の確認など当社の運送収入にかかわる業務を約10年担当しました。健康保険組合へ出向した後、計算課に復職し、その翌年現職に就きました。係長になったのは出向時、課長になったのは計算課に戻ったときです。

――管理職となって、意識の変化はありましたか。

係長になった際、課のメンバーの勤怠管理を任され、自分の仕事を優先していればよかったそれまでとは立場や責任が違うと感じたのですが、課長になったとき、その責任の重さがさらに大きいことを痛感しました。特に、本社の管理職は管理する対象がグループ全体に及び、その責任の重さは自分の想像をはるかに上回るものでした。また、経理に移った当初は、専門的な経理業務の習得に苦労する一方、社内やグループ会社との関わりが増え、視野がとても広がりました。部下の指導にあたっては、皆の将来のことを念頭に、それぞれの個性に応じてアドバイスするよう心掛けています。

女性管理職として道を開く

――女性管理職として、意識されることはありますか。

当社が女性課長の登用を始めたのは、国による女性活躍推進の動きが本格化してきた2013年のことです。私を含め3人が任命されました。女性課長は創業当時にもいたらしいのですが、近年ではロールモデルがいない中でのスタートだったため、何をやるにも手探り状態で苦労しました。私自身は“女性だから”という意識を特に持っていなかったのですが、「女性管理職研修があれば助かる」と思ったこともあります。今は以前に比べて女性活躍推進に対する社内の意識も向上しています。優秀な女性従業員も増えていますので、後に続く人のために道筋をつけることも役目だと心得ています。

――管理職として、ますますお忙しい毎日だと思いますが、ワークライフバランスをとる秘訣を教えてください。



仕事を忘れる瞬間がリフレッシュにつながると思っています。オフタイムに使える時間がますます短くなっている今だからこそ、少しでもリフレッシュできるよう心掛けています。以前から参加しているテ

ニスサークルもその一つ。最近はあまり行けず残念なのですが、身体を動かすと本当にリフレッシュします。仕事以外に熱中できることがあれば生活にメリハリが生まれ、仕事にもより集中できますよね。部下たちにもそうした時間を大切にしてほしいと思っています。

災害で再確認した物流の重要性

――今後の抱負を教えてください。

会社の事業活動の結果を数字で表す経理業務は、事後報告的なイメージが強いと思いますが、経営者が経理担当者に求めているのは、結果だけではなく、会社が進むべき方向性を決めるために必要な数値的提案だと理解しています。会社の現状が全て見える仕事なので責任も重いですが、その分やりがいも感じています。今後は、仕事の精度をさらに向上させ、数字に表れてくる可能性や課題を経営者への提案につなげ、会社の成長に貢献していきたいと考えています。また、私が悪戦奮闘している姿を見て、「あれくらいなら自分にもできる。自分も管理職を目指してみよう」とチャレンジしてくれる人が一人でも現れてくれるとうれしいですね。私の最大にして小さな野望です(笑)。

――これからの活躍が期待される世代に向けて、アドバイスをお願いします。

まずは自分に与えられた役割を理解し、ひたむきにやってみてください。頑張っている姿を見ていてくれる人は必ずいます。私自身、入社以来、一生懸命与えられた仕事に取り組んできたことが評価され、今があると思っています。また、7月に中四国地方を襲った豪雨災害を通じて、人々の生活を支えている物流の重要性をあらためて実感しました。今後も、自分の業務を通じ、会社に貢献することで、ひいては社会への貢献につなげたいと思っています。若い世代の皆さんも、物流が社会を支えていることを理解し、さらに魅力ある業界になるよう力を尽くしていただきたいと思います。

――ありがとうございました。



職場の歓送迎会にて



お世話になった上司との２ショット



テニスサークルの仲間とともに

会社概要

福山通運株式会社

本　　社:広島県福山市東深津町四丁目20番1号
東京支店:東京都江東区越中島3-6-15
設　　立:1948年9月13日
資 本 金:30,310,457千円(平成30年3月31日現在)
代 表 者:代表取締役 取締役社長執行役員　小丸 成洋



【事業概要】
福山通運は、「総合物流企業として文化の向上と豊かな生活の創造及び地域経済の発展に貢献すべく、たゆまぬ創意と工夫で物流フロンティアを先駆し続ける」を経営理念とし、事業活動を推進している。本年、創業70周年という節目の年である2018年度を初年度とする新たな中期経営計画「Challenge,Change 2020」を策定した。全てのステークホルダーの満足の向上を目指すとともに、人口減少や高齢化の進展などによる社会構造の変化に即応していくため、企業価値のさらなる向上に努めている。